



びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

Contents

オペラへの招待 モーツァルト作曲『フィガロの結婚』	P2・3
オペラへの招待 オッフェンバック作曲『天国と地獄』	P4
25周年を華麗に彩ったオペラ公演の数々	P5
プロデュースオペラ『ばらの騎士』制作発表	P6
2023年秋～冬公演 Pick up!!	P7
びわ湖ホール音楽アンサンブル・ニュース	P8
びわ湖ホールからのお知らせ	P9
えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より	P10・11
びわ湖ホール25周年に寄せて	P12



びわ湖ホール オペラへの招待 モーツァルト作曲

新制作 全4幕／イタリア語上演・日本語字幕付



芸術監督 阪 哲朗が得意の『フィガロの結婚』で就任後初のオペラ指揮

〈びわ湖ホール オペラへの招待〉は、「初めてのオペラ」を体験するのにうってつけのシリーズ。『フィガロの結婚』は音楽史上最高の作品の一つでかつ抜群の人気を誇る作品です。阪 哲朗が4月に芸術監督に就任して、初めての全曲を指揮するオペラとなります。阪は自らの指揮活動の原点を「ウィーン」と位置付け、現在の日本を代表するモーツァルト指揮者といわれています。びわ湖ホールでは2021年のオペラへの招待『魔笛』で高い評価を得ました。

ソリストは、びわ湖ホール声楽アンサンブルが務め、客演にはモーツァルトの母国オーストリアのリンツ歌劇場で活躍した森谷真理、ウィーン・フォルクスオーパーでフィガロを歌ってきた平野 和などを迎えます。

阪 哲朗が芸術監督として初めて指揮する得意のモーツァルト。

見逃すわけにはいかない！

〈オペラへの招待〉シリーズで『フィガロの結婚』を新制作。10月に一挙6公演が予定される。何といっても阪 哲朗が新芸術監督として初めて指揮をするオペラ作品だから、これを見逃す、聴き逃すわけにはいかない。レチタティーヴォを自身の弾くフォルテピアノで奏でるスタイルも阪らしいところだが、得意のモーツァルトのオペラ、しかも『フィガロの結婚』という押しも押されもせぬ名作が取り上げられるわけだから、要注目の公演なのだ。

オペラ『フィガロの結婚』はややこしい。それはストーリーの中で人間関係がめっぽう複雑だから。『フィガロの結婚』は1786年(モーツァルトが30歳の時)にウィーンのブルク劇場で初演された。社会風刺に満ちたボーマルシェの喜劇である『狂おしい一日、あるいはフィガロの結婚』を原作に、アルマヴィーヴァ伯爵夫妻とそこに仕える従僕たちが繰り広げる物語を描いたオペラだ。

伯爵の従僕のフィガロと伯爵夫人の侍女であるスザンナは恋人同士。各々の様々な思惑が絡み合う。危うい社会風刺と貴族批判を散りばめた原作の演劇は、当時のウィーンで上演が禁止されたほどだった。ただしオペラにすることには皇帝の許しが出たようで、初演されたウィーンだけでなく、その半年後にはチェコのブラハでも上演され、大評判になった。台本作家ロレンツォ・ダ・ポンテとモーツァルトが組んだ第1作だ。

今回もこれまでの〈オペラへの招待〉と同様、びわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーが主要キャストを担う。現メンバーでは初めてのオペラ公演になるから、フレッシュな魅力が満載だ。そこにソロ登録メンバーの実力者たちも加わっての配役はびわ湖ホールの総力をあけての取り組みとなる。客演の注目はフィガロ役の平野和(7、9、15日)。びわ湖ホールでも今年3月のプロデュースオペラ『ニュルンベルクのマイスタージンガー』の夜警役で存在感を発揮したのも記憶に新しいところだ。同じ公演に出演していた森谷真理も伯爵夫人役で出演する。関西各地で多彩な活躍を続ける萩原寛明も客演でバルトロ役を担う(森谷、萩原とも8、14、16日)。

松本重孝が意外にもびわ湖ホールで初めてオペラの演出を手がける。近年は藤原歌劇団ほか各地で様々な作品を手がけていて、関西のオペラファンにもなじみ深い存在だ。オーソドックスな演出スタイルが持ち味だから、作品の魅力とじっくり向かい合う公演になること必至。

『フィガロの結婚』は11人もの人物が登場する物語だ。全4幕で各幕が40分から50分と、当時としても相当長いオペラだった。さらに「重唱」が多く、各所に複数の歌手が歌う音楽が散りばめられていて、「アンサンブル・オペラ」の傑作とも言われてきた。これだけの時間をかけて、これだけの人物と一緒に歌わせることで、一挙にストーリーの展開が可能になっている。そこに書かれた音楽にはモーツァルトのきらめくばかりの手腕が発揮されていて、これこそがオペラ『フィガロの結婚』の醍醐味なのだ。

指揮・フォルテピアノ：阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)

演出：松本重孝

合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

管弦楽：日本センチュリー交響楽団

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか

びわ湖ホール オペラへの招待

モーツァルト作曲『フィガロの結婚』(全4幕／イタリア語上演・日本語字幕付)



10月7日(土)・8日(日)・9日(月・祝)・

14日(土)・15日(日)・16日(月) 全日14:00開演[中ホール]

一般5,500(4,950)円 青少年(24歳以下)2,200円

シアターメイツ1,100円

チケット好評発売中

CAST

伯爵
伯爵夫人
スザンナ
フィガロ
ケルビーノ
マルチェリーナ
バルトロ
バジリオ
ドン・クルツィオ
バルバリーナ
アントニオ
花娘
★客演 ※びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

7日(土)
9日(月・祝)
15日(日)

市川敏雅
船越亜弥※
山岸裕梨
平野 和★
山内由香
益田早織※
林 隆史※
有本康人
奥本凱哉
佐々木真衣
西田昂平
高田瑞希・小林あすき※(全日)

8日(日)
14日(土)
16日(月)

平 欣史
森谷真理★
熊谷綾乃※
内山建人※
山際さみ佳※
藤居知佳子
萩原寛明★
谷口耕平
福西 仁
脇阪法子
大野光星

★客演 ※びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

あらすじ

劇作家ボーマルシェによる戯曲「フィガロ三部作」の第1作『セビリアの理髪師』(ロッシェニがオペラ化)でめでたく結婚した伯爵と伯爵夫人。続く今作『フィガロの結婚』は、その数年後、伯爵の従者となったフィガロとスザンナの結婚式当日の物語。フィガロはスザンナから、伯爵に誘惑されていると聞き、伯爵を懲らしめる作戦を立てます。しかし、伯爵も借金をたてにフィガロとの結婚を目論む女中頭のマルチェリーナを味方につけ応戦、そこに伯爵夫人に恋するケルビーノらが次々と現れ……。互いに騙し騙され伯爵邸の人々を巻き込んだ騒ぎは、夜の庭で大団円を迎えます。

聴きどころ

第1幕

- 序曲
- アリア〈自分で自分がわからない〉(ケルビーノ)
- アリア〈もう飛ぶまいぞ、この蝶々〉(フィガロ)

第2幕

- アリア〈愛の神よ、安らぎを与えたまえ〉(伯爵夫人)
- アリア〈恋とはどんなものかしら〉(ケルビーノ)
- フィナーレの三重唱〈スザンナ出ておいで〉から幕切れの七重唱まで、スリリングな展開と声のアンサンブルの見事さが、後半を期待させます。

第3幕

- マルチェリーナの訴えた裁判のレチタティーヴォから始まり、大どんでん返しののち歌われる六重唱〈認めておくれこの母を〉はもっとも幸福感に満ちた場面です。
- 〈手紙の二重唱〉(伯爵夫人、スザンナ)

第4幕

- アリア〈よく目を開けて見る〉(フィガロ)
- アリア〈恋人よ早くここへ〉(スザンナ)
- フィナーレは、暗闇の中で伯爵に対し伯爵夫人とスザンナが仕かけた計略が成功し、フィガロとスザンナが愛を確かめる場面など見事な歌と音楽で、ドラマが展開していきます。

Message

…出演者よりメッセージ…

もりや まり

伯爵夫人(8日・14日・16日)



『フィガロの結婚』は、デビューの翌年にアメリカでスザンナ役を歌って以来で、伯爵夫人を演じるのは初めてです。

私にとってモーツァルトは原点で、デビューが『魔笛』の夜の女王でしたし、常にモーツァルトが私のキャリアの背中を押してくれているように感じています。全編にわたって聴きどころ満載のオペラですが、2幕と4幕のフィナーレなどの大重唱を歌っているときに幸せを感じます。他にもスザンナとの「手紙の二重唱」は大好きです。映画「ショーシャンクの空に」でもこの二重唱が印象的に使

われていました。実は私の一番好きな映画です。長年歌いたいと思っていたこの役、今良い時期だと思っています。

ひらの やすし

フィガロ(7日・9日・15日)



ウィーンに所縁のあるマエストロとともに、こうしてダ・ポンテ三部作の代表作である『フィガロの結婚』を演奏できることを楽しみにしています。今回は声楽アンサンブルの皆さんとともに舞台に立ちますので、私よりも若いキャストが多いと思います。歌手としての生き様を背中で見せられるよう、先頭に立って頑張っていきたいですね。

私は2012年から7シーズンほど、ウィーン・フォルクスオーパーでフィガロ役を演じてきましたが、この役の魅力というのは1本のオペラの中でフィガロがいかに1人の人間として成長していくかだと感じています。彼にとって譲れないもの、それはスザンナへの愛ですが、それをいかに守り抜いてゆくか。そういった人間ドラマも皆さん楽しんでいただけたら幸いです。

…びわ湖ホール声楽アンサンブル… メンバーからのメッセージ

やまうち ゆか

ケルビーノ(7日・9日・15日)



稽古は7月から本格的に始まり、夏の暑さに負けず日々熱く根気よく指導してくださる先生方、そして世界で活躍されている歌手の皆さまと過ごす時間は、私たちにとってこれ以上ない最高の学びの場です。

この公演にて、ケルビーノを演じさせていただきます。2幕のアリア「恋とはどんなものかしら」はオペラに詳しくない方もきっとどこかで耳にしたことがある有名な曲です。この曲を歌わせていただくことは緊張すると同時にとてもワクワクしています。今回の公演は私にとって大切なびわ湖ホールでのオペラデビューとなりますが、舞台からどのような景色を見ることができののか、とても楽しみです。その姿をたくさんの方に見届けていただけるよう全身全霊で演じさせていただきます。ご来場を心よりお待ちしております！

たいら よしゆみ

伯爵(8日・14日・16日)



『フィガロの結婚』は自分が大学に入学して初めて取り組んだオペラなので、とても思い出深い作品です。そんな人生最初のオペラの、しかもアルマヴィーヴァ伯爵という役をこの度演じさせていただくことになり大変光栄に思っております。

オペラ・ブッファであるこの作品の喜劇としての楽しさ、面白さももちろん見どころですが、それぞれの曲の中にあるキャラクターの心情、2幕と4幕のフィナーレなどで次々に出てくるキャラクターの掛け合い…その全てがハーモニーの中でセリフとして、会話として見事に溶け合っているモーツァルトの音楽はいつ聴いても鳥肌が立ってしまいます。そんなモーツァルトを天才と言わしめる作品を是非会場でお楽しみください。お待ちしております。



びわ湖ホール オペラへの招待 オッフェンバック作曲

『天国と地獄』は、19世紀後半の市民が社会的に力を持ち始めたパリで、オッフェンバックが作曲・初演したフランス・オペレッタを代表する名作です。

作曲当時、パリ・オペラ座ではグルック作曲の歌劇『オルフェオとエウリディーチェ』が再演され大ヒットしていました。皇帝の所有だったオペラ座に対抗して、大衆のための劇場で作品を作っていたオッフェンバックは、『地獄のオルフェ』(日本で上演される際に『天国と地獄』のタイトルになりました)という名前で『オルフェオとエウリディーチェ』のパロディを盛り込んだオペレッタを作りました。



聴きどころ

元の話となった「オルフェオとエウリディーチェ」は、ギリシャ神話の有名なエピソードを題材としたもので、愛する妻エウリディーチェを亡くしたオルフェオが、妻への愛ゆえに神の力を借り、妻を取り戻すために冥界に向かう劇的な物語。数多くの劇作家や作曲家が作品化しており、それをオッフェンバックがドタバタ劇にしました。彼の強烈な皮肉に満ちた読み替えは現代にも通じる面白さを持っているので、岩田達宗の演出にもご期待ください。

CAST

オルフェ	21日・23日	22日・24日
ユリディス	有本康人	福西 仁
字幕	山岸裕梨	脇阪法子
ブルトン/アリス	藤居知佳子	山内由香
ジュピター	奥本凱哉	谷口耕平
キュービット	市川敏雅	大野光星
ダイアナ	高田瑞希	熊谷綾乃※
ヴィーナス	佐々木真衣	藤村江李奈※
マルス	船越亜弥※	小林あすき※
メルキュール	西田昂平	林 隆史※
ジュノン	迎 肇聡※	平 欣史
ハンス・スティックス	森 季子※	栗原未和※
	島聖人※	古屋彰久※

※びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

News

「びわ湖ホールまるっとステージツアー」を行いました。

毎年、大好評のホール体験ツアーを8月23日に行いました。減多に立つことのできない大ホールの舞台や普段は入ることのできない楽屋、国内有数の4面舞台のダイナミックな動きや照明、音響のメカニズムも体験していただきました。写真撮影も可能で、夏休み中ということもあり、参加した子どもたちみんなは大喜びでした。

今回は1月下旬に開催を予定していますが、詳細が決まり次第びわ湖ホールのホームページ等でお知らせします。

佐治敬三賞の贈賞式に出席。

7月11日に東京・赤坂のサントリーホール・ブルーローズ(小ホール)で公益財団法人サントリー芸術財団が主催する第54回サントリー音楽賞と第22回佐治敬三賞の贈賞式が行われました。

サントリー音楽賞は指揮者の井上道義へ、佐治敬三賞はピアニストの北村朋幹が昨年10月にびわ湖ホールの主催で、滋賀県立美術館とのコラボで行なった「北村朋幹 20世紀のピアノ作品(ジョン・ケージと20世紀の邦人ピアノ作品)」へ贈られました。

贈賞式で北村は「(自分＝)日本人が西洋音楽をすることへの問いを抱くなか、演奏会の1年ほど前から演奏曲を選ぶために大量の楽譜を探し、日本で過去に作られた音楽と向き合うことは、先達たちのこれまで知らなかったアイデンティティを見るようなとても良い時間でした。この演奏会を経て、自分が『何者』かというのがほんの少しだけわかったような気がしました。このような機会を与えてくださったことに心の底から感謝しています」と喜びを語りました。

全4幕／日本語上演・日本語字幕付

天国と地獄

✿ 指揮の大川修司からのメッセージ ✿

たくさんの方々の力を結集した舞台を、お楽しみください



今回の演目、ジャック・オッフェンバック作曲の『天国と地獄』をくびわ湖ホールオペラへの招待シリーズで取り上げるのは2回目です。『天国と地獄』という一般的なには運動会のかっここのイメージが強いかと思いますが、運動会で使われる曲以外にも素敵な曲、楽しい曲がたくさんつまっています。

キャストを務める声楽アンサンブルには、4月から新メンバーが6人加わっており、とても新鮮な舞台になると思います。専属メンバーに加え、OB・OGである声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーが脇を固めてくれるので、頼もしい限りです。専属メンバーとベテラン、お互いが良い刺激となり、楽しい舞台を作りあげてくれることでしょう。また、後半では一般公募した合唱の方々にもご出演いただきます。たくさんの方々の力を結集した舞台です。どうぞお楽しみください。

大川修司 Okawa Shuji

国立音楽大学卒業。これまでにびわ湖ホール、東京二期会、新国立劇場、日生劇場、兵庫県立芸術文化センター、愛知県立芸術文化センターなどを中心にオペラの副指揮者、合唱指揮を務める。『夕鶴』海外公演では2001年にウズベキスタン、カザフスタンに、05年には韓国公演に参加。錦織 健プロデュースオペラや鮫島有美子プロデュースオペラにも副指揮者として参加。鮫島有美子プロデュースオペラ『夕鶴』では福島公演を指揮するなど、これまでに数多くのオペラに携わる。また、劇団四季公演「ライオンキング」を1999年から2011年まで指揮するなど幅広い活動をしている。指揮法を高階正光、ピアノを八代安子、声楽を大石正治の各氏に師事。18年4月よりびわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者。

びわ湖ホール オペラへの招待

オッフェンバック作曲『天国と地獄』

(全4幕／日本語上演・日本語字幕付)

指揮：大川修司(びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者)

演出：岩田達宗

合唱：『天国と地獄』合唱団

管弦楽：大阪交響楽団

12月21日(木)・22日(金)・23日(土)・24日(日)

全日 14:00開演[中ホール]

一般5,500(4,950)円 青少年(24歳以下)2,200円 シアターメイツ1,100円

友の会優先発売：9月22日(金) 一般発売：9月24日(日)

助成：一般財団法人 地域創造



岩田達宗(演出)



大ホール舞台から客席を臨む



左から井上道義、北村朋幹、館長の村田和彦

25周年を華麗に彩ったオペラ公演の数々

〈プロデュース・オペラ〉

“創造する劇場”として、びわ湖ホールが総力を挙げて制作するプロデュースオペラ。開館当初から国内外の第一線で活躍するキャスト・スタッフを集めて制作を続けてきました。指揮は毎回、芸術監督が務めています。

1998年9月5日 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール開館

1998年度～2006年度 初代芸術監督 若杉 弘

ライン・ドイツオペラの芸術総監督など海外の一流歌劇場の要職を経験した若杉は、びわ湖ホールの芸術監督に就任すると、イタリアオペラの巨人ヴェルディの「日本初演シリーズ」を開始。それまで作品としての価値を認められながらも上演に至らなかった作品を取り上げたことで注目を集め、全国でびわ湖ホールの存在が知られるきっかけとなりました。

1998年度-2006年度 ヴェルディ・シリーズ
指揮：若杉 弘 演出：鈴木敬介 管弦楽は表記のない年は、京都市交響楽団

- 1999年 『ドン・カルロ』 イタリア語・5幕版
- 1999年 『群盗』 管弦楽：大阪センチュリー交響楽団
- 2000年 『ジャンヌ・ダルク』
- 2001年 『アッティラ』
- 2002年 『エルナーニ』
- 2003年 『シチリアの夕べの祈り』
- 2004年 『十字軍のロンバルディア人』
- 2005年 『スティッフエリオ』
- 2006年 『海賊』

びわ湖ホール

25周年

PART1



1999年『ドン・カルロ』より



2008年『ばらの騎士』より



2020年『神々の黄昏』より

2007年度～2022年度 第2代芸術監督 沼尻竜典

2007年に芸術監督に就任した沼尻竜典はそれまでと一転、名作レパートリーの上演に取り組みました。さらに個性的な作品を含む「沼尻竜典オペラセクション」が加わりました。

また、2010年沼尻竜典オペラセクション『トリスタンとイゾルデ』で始まったワーグナーのオペラ上演は、その後プロデュースオペラに引き継がれ、パイロイト音楽祭でワーグナーが上演を推奨した10作品を同一指揮者が同一劇場で指揮する日本初の快挙を達成しました。

【プロデュースオペラ】 指揮：沼尻竜典 管弦楽は表記のない年は、京都市交響楽団

- 2008年 R・シュトラウス 『ばらの騎士』 演出：アンドレアス・ホモキ 大阪センチュリー交響楽団【神奈川公演=以降、2016年まで、毎年開催、管弦楽は神奈川フィルハーモニー管弦楽団】
- 2009年 ブッチーニ 『トゥーランドット』 演出：栗國 淳
- 2010年 ブッチーニ 『ラ・ボエーム』 演出：アンドレアス・ホモキ
- 2011年 ヴェルディ 『アイーダ』 演出：栗國 淳(神奈川公演は東日本大震災の影響で中止)
- 2012年 ワーグナー 『タンホイザー』 演出：ミヒャエル・ハンベ
- 2013年 ヴェルディ 『椿姫』 演出：アルフォンソ・アントニオツィ
- 2013年 ワーグナー 『フルキューレ』 演出：ジョエル・ローウェルス 日本センチュリー交響楽団と神奈川フィルの合同
- 2015年 ヴェルディ 『オテロ』 演出：栗國 淳(2015～16年大分公演が加わる)
- 2016年 ワーグナー 『さまよえるオランダ人』 演出：ミヒャエル・ハンベ(大分公演は、指揮：大勝秀也 九州交響楽団)
- 2017年 ワーグナー 『ラインの黄金』 演出：ミヒャエル・ハンベ
- 2018年 ワーグナー 『フルキューレ』 演出：ミヒャエル・ハンベ
- 2019年 ワーグナー 『ジークフリート』 演出：ミヒャエル・ハンベ
- 2020年 ワーグナー 『神々の黄昏』 演出：ミヒャエル・ハンベ 【無観客上演・無料ライブ配信】
- 2021年 ワーグナー 『ローエングリン』(セミ・ステージ形式) ステージング：栗國 淳
- 2022年 ワーグナー 『バルジファル』(セミ・ステージ形式) 構成：伊香修吾
- 2023年 ワーグナー 『ニュルンベルクのマイスタージンガー』(セミ・ステージ形式) ステージング：栗國 淳

【沼尻竜典オペラセクション】 指揮：沼尻竜典 管弦楽：大阪センチュリー交響楽団(2012年～日本センチュリー交響楽団に改称)

- 2007年 ヴェムリンスキー 『こびと〜女王様の誕生日』(日本初舞台上演) 演出：加藤 直
- 2008年 R・シュトラウス 『サロメ』(ポルトガル サン・カルロス歌劇場共同制作) 演出：カロリーネ・グルーバー
- 2009年 ベルク 『ルル』(3幕完成版) 演出：佐藤 信
- 2010年 ワーグナー 『トリスタンとイゾルデ』(ドイツ・ケムニッツ歌劇場提携公演) 演出：ミヒャエル・ハイニケ
- 2011年 モーツァルト 『ドン・ジョヴァンニ』(東京二期会、ライン・ドイツ・オペラ共同制作) 演出：カロリーネ・グルーバー
- 2012年 モーツァルト 『コジ・ファン・トゥッテ』(スイス・バーゼル歌劇場共同制作) 演出：ジョルジュ・デルノン
- 2013年 コルンゴルト 『死の都』(日本初舞台上演) 演出：栗山昌良
- 2014年 ヴェルディ 『リゴレット』 演出：田尾下 哲
- 2015年 沼尻竜典 『竹取物語』(日本初舞台上演) 演出：栗山昌良
- 2016年 ドニゼッティ 『ドン・パスクワレ』(日生劇場・藤原歌劇団・日本センチュリー交響楽団共同制作) 演出：フランチェスコ・ベッロット

- 2017年 ベッリーニ 『ノルマ』(日生劇場・川崎市スポーツ・文化総合センター・藤原歌劇団・東京フィルハーモニー交響楽団共同制作) 演出：栗國 淳 管弦楽：トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア

- 2018年 モーツァルト 『魔笛』(びわ湖ホール・日生劇場提携公演) 演出：佐藤美晴
- 2019年 ブーランク 『声』(演奏会形式) 演出：舞台構成：中村敬一 管弦楽：京都市交響楽団
- 2020年 ロッシーニ 『セビリアの理髪師』(びわ湖ホール・日生劇場提携公演)(コロナウィルスの影響で中止)
- 2021年 ビゼー 『カルメン』(びわ湖ホール・新国立劇場提携公演) 演出：アレックス・オリエ 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
- 2022年 ロッシーニ 『セビリアの理髪師』(びわ湖ホール・日生劇場提携公演) 演出：栗國 淳

2023年度～ 第3代芸術監督 阪 哲朗

- R・シュトラウス 『ばらの騎士』(詳細は6ページ参照)
- J・シュトラウスⅡ世 『こうもり』(全国共同制作オペラ) 演出：野村萬斎

びわ湖ホール プロデュースオペラ
リヒャルト・シュトラウス作曲

新制作

ばらの騎士

制作発表

阪 哲朗が芸術監督に就任後、初めてプロデュースオペラを指揮します。来年3月2日(土)・3日(日)の上演に先がけて、指揮の阪 哲朗、元帥夫人役の森谷真理、オクタヴィアン役の山際きみ佳(びわ湖ホール声楽アンサンブル)が出席し、記者発表を行いました。



左より 森谷真理、阪 哲朗、館長・村田和彦、山際きみ佳

びわ湖ホールにウィーンの風を吹かせることができます。

びわ湖ホール芸術監督・指揮 阪 哲朗

この作品は、大規模に関わる人間が多く歌も演奏も難しいですが、20世紀のオペラではダントツの知名度と人気を誇っています。

R.シュトラウスは、モーツァルト『フィガロの結婚』の書かれた時代のマリア・テレジア朝に舞台を移し、人工的に古き良き時代のウィーンを感じさせる作品に仕立て上げました。テキストにはウィーンらしさが随所に散りばめられ、加えて宮廷文化の最後の輝きを放った時代を代表する音楽～ヨハン・シュトラウス一家で有名なウィンナ・ワルツ～もあちこちに登場します。R.シュトラウスの生きた時代の約100年前に生まれた『フィガロの結婚』がなければ、おそらく『ばらの騎士』もなかったでしょう。

『サロメ』、『エレクトラ』のあとに書かれた『ばらの騎士』は前2作の尖った前衛的な作品と比べて格段に耳触りは良いのですが決して退化したわけではありません。ライトモチーフの巧みな扱いと革新的な調性の使い方など、新しい試みも加わっています。

そして「ウィーンの風」というテーマで「びわ湖の春 音楽祭」を行い、『フィガロの結婚』、『こうもり』と続くと、最後は『ばらの騎士』で締めくくらなければならない、という流れになっていると思っています。3月までにそれらを一括りとして、びわ湖ホールにウィーンの風を吹かせることができると考えます。

今回は、新型コロナウイルス感染症での制限が撤廃されて初めての上演です。総合芸術といわれるオペラの出発点には演劇があり、そういう意味で本来の歌手の演技、絢爛豪華なオーケストラ、舞台装置や照明など、五感に訴えかける楽しみを味わっていただきたいと思います。

瞬間、瞬間を生きる元帥夫人を

演じたい

元帥夫人役(出演/3月2日公演) 森谷真理

びわ湖ホールでは、2014年に『リゴレット』で役をいただいて、とうとう『ばらの騎士』と心から嬉しく感じます。また『フィガロの結婚』と『ばらの騎士』という2つの作品にこの1年の中で携われる嬉しさ、その関連性がどのように表に出てくるかみなさまにご覧いただきたいと思っています。

R.シュトラウスの音楽とホフマンスタールの素晴らしい台本から醸し出される優美さ華やかさとともにある切なさや儚さ、そこから放たれる作品の色気を存分に楽しんでいただきたいです。びわ湖ホールで『ばらの騎士』という作品を見て良かったなとお客さまが感じて、帰っていただけるプロダクションになるだろうと信じています。そのために自分が全力を尽くして、その瞬間、瞬間を生きる元帥夫人を演じられたらと思っています。

一番やりたかった役をこのホールで歌える

というのは大きな喜びです

オクタヴィアン役(出演/3月3日公演) 山際きみ佳

かねてから、オクタヴィアンは、この役ができれば、歌手生活は終わってもいいと思っていたくらいメゾソプラノにとって大切な役です。

びわ湖ホール声楽アンサンブルの1年目に『フィガロの結婚』のケルビーノ役で、右も左もわからない状態からオペラを通して成長させていただきました。その後3年間イタリアのトリエステ歌劇場で活動し、日本に戻ってきて自分が一番やりたかった役をこのホールで歌えるという大きな喜びと高揚感に包まれた気持ちです。

作品の中心テーマは「時」だと思います。元帥夫人の歌の中には「移るいゆく時」が随所に感じられます。対してオクタヴィアンは「若さの象徴」で、感情が前に出ます。その感情の昂りはメゾソプラノにとって、とても高い音域で表現しなければならない難しさがあります。一方で女性が男性役を演じて女装までするというコミカルな部分もあり、さまざまな場面で要求される技術的な部分も表現できればいいなと思っています。



びわ湖ホール プロデュースオペラ
R.シュトラウス作曲

『ばらの騎士』(全3幕/ドイツ語上演・日本語字幕)

2024年3月2日(土)・3日(日)

両日とも14:00開演 (18:10終演予定)

【大ホール】

指揮: 阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
演出: 中村敬一

管弦楽: 京都市交響楽団
合唱: びわ湖ホール声楽アンサンブル

SS席22,000(20,900)円
S席19,800(18,700)円
A席16,500(15,400)円
B席14,300(13,200)円
C席11,000円 D席8,800円 E席5,500円
U30席(30歳以下)3,300円
U24席(24歳以下)2,200円
2公演セット券(S席)35,200(33,000)円
青少年割引当日券あり

友の会優先発売: 11月2日(木)
一般発売: 11月4日(土)

【キャスト】	3月2日(土)	3月3日(日)
元帥夫人	森谷真理	田崎尚美
オックス男爵	妻屋秀和	斉木健詞
オクタヴィアン	八木寿子	山際きみ佳※
ファニーナル	青山 貴	池内 響
ゾフィー	石橋栄実	吉川日奈子
マリアンネ		船越亜弥※
ヴァルツァッキ		高橋 淳
アンニーナ		益田早織※
警部		松森 治※
元帥夫人の執事		島影聖人※
ファニーナル家の執事		古屋彰久※
公証人		晴 雅彦
料理屋の主人		山本康寛※
テノール歌手		清水徹太郎※
※びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー		

関連企画

オペラ講座『ばらの騎士』(初級編/全2回)
映像や音楽を交えながら、存分に予習していただける講座。R.シュトラウスの大作オペラ『ばらの騎士』をより深く楽しみたい方、オペラ初心者の方におすすです。

講師: 東条碩夫(音楽評論家)
会場: コラボしが21 3階大会議室
第1回 2024年1月7日(日) 14:30~16:30
第2回 2024年1月21日(日) 15:20~16:50
※当初の予定から時間を変更しています。

2回通し券2,200円
1回券(当日残席がある場合のみ販売) 1,650円
【全自由席】
友の会優先発売11月2日(木) 一般発売11月4日(土)

岡田暁生『ばらの騎士』セミナー
(上級編/全2回)

オペラのプレトークや名著『バラの騎士』の夢、などで人気の岡田暁生を講師に迎え、『ばらの騎士』の魅力を様々な角度から掘り下げます。

講師: 岡田暁生(京大大学人文科学研究所教授)
会場: コラボしが21 3階大会議室
第1回 2024年1月13日(土) 14:00~16:00
第2回 2024年1月27日(土) 14:00~16:00

2回通し券2,200円
1回券(当日残席がある場合のみ販売) 1,650円
【全自由席】
友の会優先発売11月2日(木) 一般発売11月4日(土)

2023年秋～冬公演 Pick up!!

室内楽への招待 カザルス弦楽四重奏団

スペインの音楽界のシンボル、パブロ・カザルスの名を冠し、国際的に高い評価を受ける弦楽四重奏団がびわ湖ホールに初登場。結成25周年の節目を迎えたカルテットが、西洋の音楽史上最も深遠な対位法作品「フーガの技法」を全曲演奏します。



カザルス弦楽四重奏団 ©David Ruano

出演: ヴェラ・マルティネス・メーナー、アベル・トーマス(ヴァイオリン)
ジョナサン・ブラウン(ヴィオラ)、アルナウ・トーマス(チェロ)
【曲目】 J.S.バッハ: フーガの技法 二短調 BWV1080(全曲)

11月5日(日) 14:00開演【小ホール】

一般4,950(4,400)円 青少年(24歳以下)2,200円 チケット発売中

●関連講座 室内楽講座

「なぜ弦楽四重奏で「フーガの技法」をとりあげるのか」

京都市交響楽団首席奏者を務め、室内楽でも活躍するヴィオラ奏者の小峰航一が「フーガの技法」の魅力を語ります。

10月21日(土) 19:00開講【小ホール】

お話: 小峰航一

料金: 550円 ※当日会場にてお支払いください。11/5公演チケット提示の方は無料

気軽にクラシック36

森 季子 ロマン派のドイツ歌曲

～いまいちど、原点に～

びわ湖ホール声楽アンサンブルとしても数々のオペラなどに出演してきた森 季子が自身の原点と位置付けるシューベルトやマーラーなどのドイツ歌曲を歌います。ピアノは、声楽家からの信頼厚い河原忠之。充実の1時間をお贈りします。

出演: 森 季子(メゾソプラノ)
河原忠之(ピアノ)

【曲目】
シューベルト: 糸を紡ぐグレートヒェン、音楽に寄せて、ます、春の信仰
マーラー: 「リュッケルトの詩による5つの歌曲」より
シューマン: 歌曲集「女の愛と生涯」op42全曲

11月25日(土)
14:00開演【小ホール】

一般1,100円 チケット発売中



森 季子



河原忠之

びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート2023

1年を締めくくる特別な日、最高の音楽に包まれて過ごすひと時を!

いま、旬の輝きを見せるピアニスト福岡洸太郎が今年生誕150年のラフマニノフの傑作、ピアノ協奏曲第2番を演奏します。また、来年生誕200年を迎えるスメタナの「売られた花嫁」から序曲と合唱曲などを取り上げます。指揮にはドイツの歌劇場場で要職を歴任したキンボー・イシイを迎えます。大晦日はびわ湖ホールのジルヴェスター・コンサートでお過ごしください。お楽しみ抽選会もあります。

出演: キンボー・イシイ(指揮) びわ湖ホール声楽アンサンブル(独唱・合唱)
砂川涼子(ソプラノ) 桂 米園治(司会)
福岡洸太郎(ピアノ) ジルヴェスター合唱団(合唱・一般参加)
大阪交響楽団(管弦楽) ジルヴェスターファンファーレ隊(ファンファーレ・一般参加)

【曲目】 ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番
スメタナ: 「売られた花嫁」から
外山雄三: 管弦楽のためのラプソディ ほか

12月31日(日) 15:00開演【大ホール】

SS席9,350(8,800)円 S席7,700(7,150)円 A席6,050(5,500)円 B席4,400円
C席3,300円 青少年S～C席(24歳以下)2,200円 シアターメイッツS～C席1,100円
友の会優先発売: 10月26日(木) 一般発売: 10月28日(土)

石田組 2023/2024 アルバム発売記念ツアー

神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ソロ・コンサートマスター、京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを務め、カリスマ的人気を誇る石田泰尚がプロデュースするユニット「石田組」。

観客を熱狂させた2021年の公演に続き2回目の登場。石田組初披露となるシューベルト「死と乙女」など、注目されるプログラムに期待も高まります。

出演: 【ヴァイオリン】石田泰尚、塩田 脩、伊東翔太
竹内 弦、丹羽洋輔、田村昭博
【ヴィオラ】木下雄介、萩谷金太郎、古屋聡見
【チェロ】辻本 玲、森山涼介、松尾美弦
【コントラバス】米長幸一

【曲目】 シューベルト(マーラー編曲): 「死と乙女」(弦楽合奏版)
クイーン: ボヘミアン・ラブソディ、輝ける7つの海 ほか

11月26日(日) 14:00開演【大ホール】

S席4,950(4,400)円 A席3,850(3,300)円 青少年(24歳以下)1,650円

びわ湖の午後63 池田香織 メゾソプラノ・リサイタル

日本のワーグナー歌手としての地位を確立するメゾソプラノ、池田香織がびわ湖ホールで初めてのリサイタルを行います。作品への綿密なアプローチと確かな表現力を引き出す池田。今回のプログラムはあえてワーグナーから離れ池田の新たな魅力を味わえる選曲となっています。

出演: 池田香織(メゾソプラノ)、石野真穂(ピアノ)

【曲目】 デュバルク: 旅への誘い
モンボウ: 「夢の戦い」
君のまわりにはただ花ばかり
今宵、同じ一つの風が
わたしは海のような君の気配を感じていた
植松さやか: 羅生門(委嘱新作)
グリーグ: 6つの歌曲 op.48
マーラー: 「子供の不思議な角笛」より
ラインの伝説、高い知性を称えるの歌、3人の天使が歌っていた
ヴァイル: ミュージカル「ヴィーナスの接吻」より 愚かな心
ミュージカル「レディ・イン・ザ・ダーク」より マイ・シップ

12月2日(土) 14:00開演【小ホール】

一般4,400(3,850)円 青少年(24歳以下)1,650円



キンボー・イシイ



福岡洸太郎



砂川涼子



ジルヴェスター・コンサート2022より

びわ湖ホール声楽アンサンブル NEWS

復活の歌声を高らかに

6月1日～2日、6日～9日(学校鑑賞事業)、3日(一般公演)

びわ湖ホール「音楽会へ出かけよう!」(大ホール)

滋賀県内の小学校や特別支援学校の児童・生徒を招き、生の本物のクラシック音楽に親しんでもらおうと、びわ湖ホールと県・県教委の共催で2011年にスタート。これまで89,246人が参加、今回も6日間12公演を行い、10,049人が鑑賞、またびわ湖ホール開館25周年を記念して初の一般公演も行いました。

指揮はびわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗、びわ湖ホール声楽アンサンブルの歌唱、管弦楽は京都市交響楽団で、チャイコフスキーの「くるみ割り人形」「行進曲」やオフエンバックの『天国と地獄』『地獄のギャロップ』などを演奏。また、ブッチーニの『トゥーランドット』から「誰も寝てはならぬ」を宮里直樹と清水徹太郎が日程によって歌い分けるなど、豪華な出演陣が会場を魅了しました。

また、コロナ禍で4年ぶりの再開となった〈みんなで歌おう〉のコーナーでは、声楽アンサンブルのメンバーが客席に降り、子どもたちと共に「翼をください」を大合唱しました。初めてオーケストラを聴いたという児童は「オーケストラの迫力がすごかった。一緒に歌えて楽しかった」と感想を話してくれました。



7月2日

セタロビーコンサート

コロナ禍のために2020年2月から中断していた「ロビーコンサート」を7月2日に約3年半ぶりに再開しました。

午前11時と午後2時の2回、びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者・大川修司の指揮、関口康祐のピアノ、びわ湖ホール声楽アンサンブルが出演、テーマ曲というべき「琵琶湖周航の歌」を冒頭に、「ほたるこい」「たなばたさま」「星めぐりの歌」「夏は来ぬ」など、セタや夏にちなんだ歌を中心に各30分のステージを行いました。

2公演合わせて約600人の方にご来場いただき、「ロビーコンサートの復活、首を長くして待っていました、良かったです」と再開を喜んでいただきました。今後も随時、開催します。10月1日『フィガロの結婚』、30日に「ハロウィン」ロビコンを予定しています。詳しくはホームページで。



8月28日～31日

阪 哲朗オペラセミナーI

未来のオペラ界を支える若者に、整った環境の下で学べる機会を提供する“オペラセミナー”を広く一般に公開しました。

今年、全国から29人の応募があり、指揮者コースに3人、コレペティトゥアコースに5人、計8人が受講者に決定しました。海外や国内の20歳から32歳までのオペラを学ぶ意欲的な若者が集まりました。「コレペティトゥア」とは、オペラ歌手にピアノを弾きながら原語指導を含めて音楽稽古をつける人で、オペラ劇場では重要な役割を果たしています。

指揮は芸術監督の阪 哲朗、コレペティトゥアは、長年ウィーンで活動し、現在は新国立劇場オペラ研修所専任コレペティトゥアの三ツ石潤司、ベルリン国立歌劇場で活躍する西 聡美の2人が指導。密度の濃い4日間でした。



オペラ人材育成の現場をお見せしました

7月21日～23日

林 康子 声楽曲研修(小ホール)

日本のオペラ指揮の第一人者で、びわ湖ホール初代芸術監督の若杉 弘氏と声楽家で夫人の長野羊奈子氏から、次世代を担う若い音楽家のために活用してほしいと遺贈いただいた(若杉長野音楽基金)。その基金を活用し今年度は「林 康子 声楽曲研修」を実施。びわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーがオペラ・アリアの研さんに取り組みました。

林氏は、日本人で初めてイタリア・オペラの殿堂ミラノ・スカラ座で「蝶々夫人」の主役を務めたほか、イタリアの歌劇場で数多くの役を歌った経験を持つ国際的な名歌手です。

声楽アンサンブルが声の飛ばし方、発音をはじめ、様々なテクニックについて指導を受け、どんどん変わっていきました。客席では一般の観客が、熱心にその様子を聴講していました。



恒例のヒット企画を今年も開催

「美しい日本の歌」

世代を超えて心に響く歌を集めた人気シリーズ。公演前半は「歌い継ぎたい日本の歌」として「江州音頭」「ふるさとの四季」「大地讃頌」などの名曲、後半は「昭和・平成のヒット曲」としてゴダイゴの「銀河鉄道999」、キャンディーズの「春一番」など懐かしの歌謡曲を披露しました。指揮はびわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者の本山秀毅(12日は松尾卓郎)、演奏は京都フィルハーモニー室内合奏団。

観客の多くは、昭和・平成のヒット曲をリアルタイムで体験、カラオケなどで歌った世代の方で、体でリズムをとるなど、大いに楽しんでいただきました。同公演は、11月3日(金・祝)に兵庫県立芸術文化センター、11月4日(土)には、湖南市甲西文化ホールでも行います。



「美しい日本の歌」公演はいかがでしたか



西山洋介さん、真那さん親子

「歌っている方が笑顔なので楽しくなりました。懐かしい曲、教科書に載っている歌が多くてうれしかった。いちばん印象に残ったのは『YAH YAH YAH』。衣装も良かったです」(西山真那さん)

「オペラ歌手が歌うと声量が違ってすごいなあと。『あの素晴らしい愛をもう一度』など、自分の世代の曲で、大変楽しませてもらいました。娘を誘ったのですが一緒に楽しめてよかったです」(洋介さん)



門谷順子さん(写真左)、飯吉昌子さん

「びわ湖ホールには時々来ています。今回は、声楽アンサンブルで知っている方が歌っているのて来ました。素敵な企画だと思いました。オペラを歌ってらっしゃる方ならではのいつもと違う『いのちの歌』にはちょっと泣けてしまいました」(飯吉さん)

ホワイエから琵琶湖が見え開放感があった、終わった後にも景色を見ながら余韻に浸ることができるのも素晴らしいです。今日も飯吉さんに誘われて来たのですが、本当に良いコンサートで感動しました」(門谷さん)

びわ湖ホールからのお知らせ

「びわ湖ホール友の会」会員募集中

一般会員

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスを提供いたします。

年会費 2,500円(税込)

＜お問い合わせ＞ びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

サポート会員

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待、オペラ公演のゲネプロ(総稽古)へのご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費 一口につき10,000円(税込)

＜お問い合わせ＞ びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する事業に賛同し、これを支援してくださる企業・個人様向けの会員制度です。

□主催公演へのご招待 □チケット優先予約・無料郵送 □ゲネプロへご招待
□情報誌やホームページへの会員名掲載 □メインロビーへの会員名掲示 など

詳しくはホームページをご覧ください。

年会費 一口につき100,000円(税込) 入会金不要 ＜お問い合わせ＞ びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部 TEL.077-523-7140

《特別会員》のみなさま

アマノマネジメントサービス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/株式会社アルファス/一圓テクノス株式会社/いなみ矯正歯科/岩佐益男/上原恵美/エクスパンサー株式会社/株式会社栄光社/SMBC日興証券株式会社大津支店/NTT西日本滋賀支店/近江銀行株式会社/大岸 実/大谷 蔵 蔵公認会計士事務所/大津商工会議所/岡崎洋一/おかもと眼科クリニック/株式会社奥田工務店/小倉美佐子/オブテックスグループ株式会社/オリックス・ファシリティー株式会社滋賀支店/株式会社関西みらい銀行/木村水産株式会社/京都信用金庫滋賀本部/京都橋大学/株式会社きんでん滋賀支店/株式会社キントー/草津電機株式会社/工藤 卓/granlumieグランルミエ/京滋舞台芸術事業協同組合/京阪ホテルズ&リゾート株式会社 琵琶湖ホテル/甲賀高分子株式会社/小高得央/株式会社コングレ/株式会社笹川組/さざなみ法律事務所/株式会社佐藤総合計画関西事務所/三精テクノロジーズ株式会社/株式会社しがぎん経済文化センター/株式会社滋賀銀行/滋賀近交運輸倉庫株式会社/滋賀県信用金庫協会/滋賀県信用保証協会/滋賀サカ自動車株式会社/株式会社自然総研/株式会社清水屋呉服店/株式会社十字屋/公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和バルブ製作所/株式会社スマイ印刷/学校法人純美神学園/成安造形大学/瀬田医院/ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場/株式会社ダイフク滋賀事業所/大和証券株式会社京都支店/タカヒサ不動産株式会社/高谷トマト/株式会社淡海/ちばレディーズクリニック/塚本社会保険労務士事務所/株式会社DGコミュニケーションズ/株式会社天下一品/東洋ワークセキュリティ株式会社/トヨタモビリティ滋賀株式会社レクサス大津/西川 望/日新薬品工業株式会社/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メンテナンス株式会社/日本メンテナンス株式会社大津支店/株式会社ネットワークエージェンション/野村證券株式会社大津支店/羽泉正浩/パウ・クリエイト株式会社/長谷川公認会計士事務所/パナソニックEWエンジニアリング株式会社近畿支店/公益財団法人ハンパ文化振興財団/株式会社日立建機ティエラ/日野精機株式会社/株式会社ビルディング・コンサルタントワイズ/びわ湖大津プリンスホテル/琵琶湖汽船株式会社/びわ湖放送株式会社/ふくた診療所/藤井絢子/富士通Japan株式会社/兵神装備株式会社滋賀事業所/ホテルブルーレーク大津/増山公昭/株式会社松村電機製作所関西支店/豆藤/株式会社みずほ銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/宮川印刷株式会社/music square 芝蘭会/株式会社村田製作所野洲事業所/八百久/山科精器株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所/山本英司/税理士法人山本会計/ヤンマーグローバルエキスパート株式会社/横田昌和公認会計士事務所/立命館守山中学校・高等学校/龍谷大学吹奏楽部/ロマン楽器株式会社/株式会社フコール/和田厚幸/渡辺朗夫

(五十音順・敬称略・一部非掲載/2023年9月1日現在)

舞台芸術の力でみなさまに感動と笑顔をお届けしたい! ~舞台芸術創造活動にみなさまのご支援を~

びわ湖ホールでは、誰もが身近に舞台芸術に触れられるよう、様々な事業を展開しております。質の高い舞台芸術を創造する取り組みに、皆さまの深いご理解と多くのご支援をいただけてきました。ご芳名はびわ湖ホールのウェブサイトで紹介させていただいております。

素晴らしい舞台芸術を創造し、より多くの方に手軽にお楽しみいただくためには、関係者の熱意とためまぬ努力はもちろんのこと、皆さまの深いご理解とご支援が必要です。

「公益財団法人」である当財団へのご寄付については、税制上の優遇措置が適用されます。ウェブサイトからもお手続きいただけますので、舞台芸術の振興のため、引き続きご支援をお願いいたします。

＜お問い合わせ＞ びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部 TEL.077-523-7140 詳しくは、びわ湖ホールホームページをご覧ください。https://www.biwako-hall.or.jp/

代表銘菓
こだわりの
やさしい
味わい

かとう しょう じゃ あん
叶 匠 壽 庵
〒520-2266 滋賀県大津市大石龍門 4-2-1
TEL.077-546-3477(代) FAX.077-546-3480
公式オンラインショップはこちら▶

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社 叶 匠 寿 庵

モデルハウス 「にのの浜の家」
びわ湖大津
プリンスホテル住宅博

木のぬくもりあふれる暮らしをご体感ください。

木の家専門店
谷口工務店
〒520-2531 滋賀県蒲生郡竜王町山之上 3409

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社 木の家専門店 谷口工務店

はずむ心のお買物戸
平和堂

〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地
TEL (0749) 23-3111 FAX (0749) 23-3118
URL https://www.heiwado.jp/

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社 平和堂

シアターメイツ会員募集中
シアターメイツは子どもたちに気軽に舞台芸術を
楽しんでもらう会員制度です。シアターメイツ優待公演は
青少年チケット料金の約半額でお楽しみいただけます。舞
台芸術を“生”で観て、聴いて、心を育む体験をぜひ!
猫印の公演はシアターメイツ優待公演です。
ご入会方法など詳しくはホームページをご覧ください。

びわ湖ホールを借りるには

びわ湖ホールでは大ホール・中ホール・小ホール・リハーサル室・練習室・研修室の貸館を行っております。音楽、演劇、舞踊など舞台芸術の公演や練習、各種大会等に活用ください。施設利用のお申し込み方法、ご利用料金、ホールの空き状況など詳しくはお問い合わせください。

＜お問い合わせ＞ びわ湖ホール管理部 TEL.077-523-7135



滋賀県立文化産業交流会館

Art journey

えいじやに

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

01 クラシック音楽×パフォーマンスのユニークな企画が誕生！

ぶんさん0歳児からのコンサート vol.3

大阪交響楽団 × to R mansion ぱふお一まんすと楽しむお一けすたら

0歳児から大人まで、どなたでも気軽に楽しめる年齢のバリアフリーを目指したコンサート。2021年から始めたこの企画はイベントホールの特性を活かし、ベビーカーや車椅子のまま、入場いただけます。また、「赤ちゃんが泣いても大丈夫」と、子育て世代にも大好評です。

なんと、大阪交響楽団の担当者と、当館でパフォーマンス公演を重ねているto R mansionの出演者が小学校の同級生だったことが発覚！そこから話が盛り上がり、今年の公演はクラシック音楽×パフォーマンスでお届けすることになりました。

ドキドキワクワクする仕掛けが沢山詰まった、これまでとは一味違う「ぶんさん0歳児コンサート」にご期待ください。

日 時 11月19日(日)
14:00開演(15:10終演予定 *休憩なし)
会 場 滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール

出 演 指揮: 米田覚士
管弦楽: 大阪交響楽団
パフォーマンス: to R mansion
司会: 植本純米

料 金 一般2,000円 青少年(24歳以下)1,000円
小学生以下500円 全席指定 チケット好評発売中
*2歳以下の膝上またはベビーカーでの鑑賞無料。
ただし座席が必要な場合は有料。
*ベビーカー・車椅子のままご鑑賞いただける席もあります
(会館窓口で販売。電話予約可)

プレイガイド 滋賀県立文化産業交流会館(窓口・オンライン)
TEL:0749-52-5111
びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口のみ)
ローソンチケット(Lコード:52803)

to R mansion



大阪交響楽団

さらに

文産会館の秋のイチオシ公演はこちら！

佐渡裕 × シエナ・ウインド・オーケストラ《ブラスの祭典2023》

当館の35周年の記念事業として、大人気企画の佐渡裕 × シエナ・ウインド・オーケストラ《ブラスの祭典2023》を開催します。110年以上の歴史を持つウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団の音楽監督を務め、今年4月には新日本フィルハーモニー交響楽団の第5代音楽監督にも就任した佐渡裕は、当館初登場です。また、シエナ・ウインド・オーケストラは日本を代表する吹奏楽団で、高い演奏技術とエンターテインメント性で幅広い年代から支持されています。演奏曲は「ローマ三部作」。お聴き逃しなく！

日 時 12月10日(日) 14:00開演
会 場 滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール
出 演 佐渡裕(指揮)、シエナ・ウインド・オーケストラ
料 金 (1階席)一般 5,000円 青少年(24歳以下) 2,000円
(2階席)一般 2,000円 青少年(24歳以下) 1,000円 全席指定 チケット好評発売中

プレイガイド 滋賀県立文化産業交流会館(窓口・オンライン)
TEL:0749-52-5111
びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口のみ)
ローソンチケット(Lコード:53343)



佐渡裕



©kenji Shimizu
シエナ・ウインド・オーケストラ

02 湖北に伝わる物語を 邦楽ミュージカルに！ 本格的なオーディションも実施

滋賀県次世代育成ユースシアター 邦楽ミュージカル

子どもや青少年の感性や表現力、コミュニケーション能力を育むことを目的としたユースシアター事業。今年は、「羽衣伝説」等、湖北地域を題材にした物語を現代風にアレンジし、邦楽の音色に合わせて演じます。

7/14(金)には、オーディションを行いました

9歳から19歳までの27名の応募者が、配役決定のために本格的なオーディションに臨みました。台本は、役者の個性に合わせて書く「当て書き」という演出家の力の入れ様。少しでも応募者の個性を知りたいと、即興で台詞読みやダンス、アカペラで「翼をください」を歌うなどの課題が出されました。一生懸命取り組む応募者の姿も様々で、堂々とした子もいれば、恥ずかしそうにはにかみ子、また自己アピールの時間では、「動くのが大好き」と側転を見せる子もいました。このオーディションを経て、誰がどんな役を演じることになるのか、どうぞお楽しみに！



川村ミチル(俳優、劇作家、演出家)

劇団うりんご退団後、独立。2011年2月に劇団「そらのゆめ」を立ち上げ主宰する。2023年名古屋女性演劇賞受賞。日本演出者協会会員。愛知芸術文化協会会員。坂道を自転車で一気に駆け下りるような性格から周りは大変。束縛されること押さえつけられることを嫌う、根っからの自由人である。料理と酒が好き。一男一女の母で、てんやわんやの爆笑子育て中。



日 時 12月17日(日) 14:00開演
会 場 滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール
出 演 県内の小学3年生から大学生などの青少年
料 金 一般1,000円 青少年(24歳以下)500円 *11月4日(土)より販売開始
プレイガイド 滋賀県立文化産業交流会館(窓口・オンライン) 自由席
TEL:0749-52-5111

びわ湖・アーティスト・みんぐる2023

C³(シーキューブ)vol.1 かん
古典と現代音楽の《関》

「弦楽四重奏×現代音楽」の切り口で、近江・滋賀を巡りながら土地の魅力を再発見します。初回は、関西出身で世界的に活躍する酒井健治の比叡山をテーマにした新曲 弦楽四重奏曲 第1番「フローティング・フェイス」を初演します。

日 時 10月28日(土) 14:30開場 14:45酒井健治によるプレトーク 15:00開演
会 場 フィガロホール(大津市中庄1-16-14)
出 演 ルリトラノオ弦楽四重奏団
曲 目 ラヴェル:弦楽四重奏曲 ヘ長調
リゲティ(生誕100年):弦楽四重奏曲 第1番「夜の変容」 ほか
料 金 一般3,000円 24歳以下1,500円 ※未就学児入場不可 自由席
お問い合わせ (公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部 チケット好評発売中
TEL:077-523-7146



ルリトラノオ弦楽四重奏団

9月24日(日)には
旧東海道沿いの3カ所
で無料のプレコンサート
を開催。現代音楽の世界を
ご体感ください！



詳しくは
HPをご覧ください。

令和5年度滋賀県アートコラボレーション事業

関西フィルハーモニー管弦楽団 ニューイヤーコンサート

関西フィル×日本を代表するヴァイオリニストの一人・和波孝禧による、新年を彩る華やかなオーケストラの世界をお楽しみください。

日 時 令和6年1月21日(日) 14:30開演
会 場 甲賀市あいこうか市民ホール(甲賀市水口町水口5633)
出 演 管弦楽: 関西フィルハーモニー管弦楽団
指揮: 藤岡幸夫 独奏: 和波孝禧 (バイオリン)
曲 目 チャイコフスキー: バイオリン協奏曲 二短調 作品35
料 金 一般4,000円
24歳以下または65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方・介添えの方2,000円 ※未就学児入場不可 全席指定

チケット発売日 11月4日(土)
お問い合わせ 甲賀市あいこうか市民ホール TEL:0748-62-2626
プレイガイド びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ)
甲賀市あいこうか市民ホール会館窓口 ほか



関西フィルハーモニー管弦楽団

季刊誌 湖国と文化 第185・秋号 特集 世界の記憶「円珍」～未来へのパスポート

三井寺に伝わった智証大師円珍関係文書が今年、ユネスコの「世界の記憶」に登録されました。同寺が度々灰燼に帰しながら1100年を越えて守り伝えてきた国宝56件です。世界で唯一現存する唐時代のパスポートも含まれ、古代の豊かな日中文化交流の姿を伝える一次史料です。今、書かれた内容だけでなく、実物が語る豊かな情報を読み解く調査が修理とともに続いています。世界の見方を変える「記憶」をご紹介します。

2023年10月1日発行予定

<販売価格> 660円

<取り扱い>

県内書店、
びわ湖ホールシアターショップ、
滋賀県立文化産業交流会館 など

<お問合せ・購入申込>

びわ湖芸術文化財団
地域創造部
「湖国と文化」編集室
(077-523-7146)



「湖国と文化」185号

びわ湖ホール25周年に寄せて

びわ湖ホールの25周年は、オペラ上演の理想の旗の下に歩んだ尊い歴史なのである。

こく ど じゅん いち
音楽評論家 國土潤一

びわ湖ホールがオープンしてもう25年も経ったのか、と改めて驚く。というのは、私が埼玉県我が家からびわ湖ホールに足を運ぶようになったのは、2代目芸術監督の沼尻竜典の時代になってからだからだ。その公演の総てに接したわけではないが、その中でも様々な独逸圏のオペラ作品の成果には目を見張るものがあった。2008年の『ばらの騎士』、2010年の『トリスタンとイゾルデ』、2014年の『死の都』は、日本人中心に上演されたこれらの作品の最高峰に位置する公演であった。

これらの公演の白眉とも呼ぶべきものが、2017年から4年の歳月を掛けて完成した<びわ湖リング>であった。ミハエル・ハンペ晩年の最高傑作とも呼ぶべき演出を得てのワーグナーは、世界に誇れる成果を示した。残念ながら最後の『神々の黄昏』は、2020年の「コロナ禍」のための無観客上演となったが、ネット配信とブルーレイディスクによってその素晴らしさに接した人も多いだろう。これらの蓄積を経ての今年の『ニュルンベルクのマイスタージンガー』は、まさに集大成と呼ぶべき公演となった。

今、私は「集大成」という言葉を使った。日本のほとんどのオペラ公演は、謂わば「打ち上げ花火」のように、公演がそれだけで帰結してしまうことも多い。これは残念ながら既存の歴史あるオペラ団体や新国立劇場のオペラでも変わらない。しかし、びわ湖ホールは、ひとつひとつの上演を一里塚

とし、その成否の積み重ねの結果を吟味しつつ水準を高めてきた。その成果はびわ湖ホール声楽アンサンブルのソリストにも顕著だし、観客の成熟もそうだ。これは、芸術監督の手腕だけでは無く、それ以上に劇場自体のたゆまぬ向上心を背景とした努力と創意工夫が背景にあるに違いない。さもなくば、あんな高水準のオペラ上演が達成できるはずはない。びわ湖ホールの25周年は、そんな高邁な理想の旗の下に歩んだ尊い歴史なのである。

この「オペラ上演の理想」は、考えることは誰にでもできるかもしれないが、実際に行うには多くの困難を伴う。しかし、びわ湖ホールは、それを克服し25周年を迎えた。4月には、3代目芸術監督に阪 哲朗が就任した。近年の自信に溢れ充実した阪の音楽作りは、かつての阪とは別人の感すらある。機は熟した。阪はこのびわ湖ホールの歴史に、更にどんな歴史を積み重ねてくれるのだろう。大いになる期待を込めて、見守り続けたいと思っている。



ワーグナー『ニーベルングの指環』より『神々の黄昏』
2020年3月、無観客上演・YouTubeライブ配信



ワーグナー『ニュルンベルクのマイスタージンガー』2023年3月

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147
https://www.biwako-hall.or.jp/

びわ湖ホール 検索

チケットInformation



インターネット予約 <https://www.biwako-hall.or.jp/>



電話予約 チケットセンター
TEL.077 (523) 7136



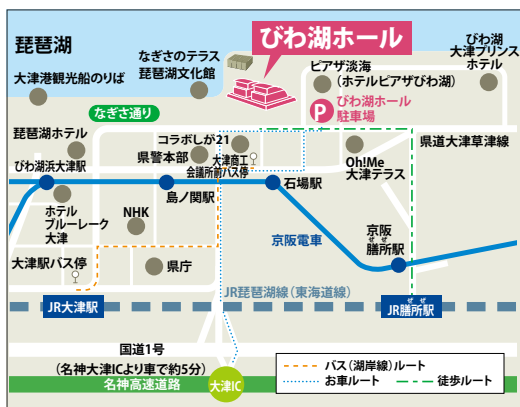
窓口販売
2階チケットセンター

10:00~19:00 / 火曜休館 ※休日の場合は翌日。

※チケット料金は消費税込の価格を表示。 ※()内は友の会会員料金。 ※一部公演を除き全席指定。
※一部公演を除き6歳以上入場可。

【青少年割引当日券の販売】 青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年(24歳以下)の方に、半額で当日券を発売いたします。SS~E席のみ。U30~U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものをご提示ください。

【シアターメイツ優待公演】 シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い(電話・窓口のみ)。



〈アクセス〉

大阪から新快速で約40分、京都から約10分 名古屋から新幹線/京都駅のかえで約60分

●JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、またはバス「湖岸線」約5分(大津商工会議所前下車、徒歩約4分)

●JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

《駐車場のご案内》 有料 849台 24時間営業 料金: 7:00~23:00 1時間毎210円(4時間経過後1時間毎110円)
23:00~7:00 1時間毎110円(時間内最大料金420円)



滋賀県立文化産業交流会館
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137

TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119 <https://www.s-bunsan.jp/>

文産 検索

チケットInformation



インターネット予約 <https://biwako-arts.tstar.jp>

パソコン(座席選択可)、スマートフォン(座席選択不可)から24時間いつでもチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブン・ファミリーマートでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。(一部公演、席種を除く)

【利用方法】①チケット予約・購入 ②チケットの受取(会館窓口 or セブンイレブン・ファミリーマート)

※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。



電話予約、窓口販売 直接、下記までお問い合わせください。

滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749(52) 5111

※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない。年末年始(12月29日~1月3日)



〈アクセス〉

(電車でお越しの方)

JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分

(お車でお越しの方)

北陸自動車道米原インターより約10分 または 名神高速道路彦根インターより約15分

《駐車場のご案内》 360台(無料)